

所属・氏名（保健医療学部 医療技術学科 氏名：小林 寛）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 体外循環用リザーバレベル 連続測定装置の開発(筆頭論 文)	共著	2007年3月	医療工学雑誌、1 号、pp.29-36	論文全体の概要：リザーバに張り付けた電極 間の静電容量からリザーバレベルを連続的に 計測できることを示した。 (当該論文の頁数：8頁) (当該論文の著者名：小林寛、二宮伸治、宇山 親雄) 担当部分の概要：実験実施、結果集計、解析 など全般
2 (学術論文) 静脈血貯血槽の血液量連続 計測に関する研究(筆頭論 文)	単著	2008年3月	広島国際大学大学 院総合人間科学研究科 (博士論文)	論文全体の概要：これまでは貯血量の一定量 以下で警報を発するのみであったが連続して 計測することにより新しい警報として動作す ることを実験的に示した。 (当該論文の頁数：65頁)
3 (学術論文) Development of a pulsatile flow-generating circulatory-assist device	共著	2010年3月	Journal of Artificial Organs, Vol13, Num1 pp.67-70	論文全体の概要：血圧の拡張期に同期する拍動 流発生装置を開発し、動物実験からのデータで その有効性を示した。 (当該論文の頁数：4頁) (当該論文の著者名：Syuji Inamori, Yukata Fujii, Tomoya Oshita, Yutaka Kobayashi, Motomu Minamiyama, Sinobu Sasaki, Takashi Murakami, Ichiro Sakuma, Masataka Gunshin, Yoshihiro Suematu, Naoki Yahagi) 担当部分の概要：拍動流発生装置の設計・製作
4 (報告・発表) 画像処理を用いたリアルタイムリ ザーバレベル測定装置の開発	共	2009年11月	第32回日本生体医 工学会中国四国支 部大会	論文全体の概要：カメラからの画像からリザーバ 内の血液量を連続的に計測できることを示した。 (当該論文の頁数：1頁) (当該論文の著者名：竹岡哲也、小林寛、福 永信太郎)
5 (報告・発表) 循環血液量変動時における 血圧の自動制御装置の試作	共	2010年9月	第33回日本生体医 工学会中国四国支 部大会	論文全体の概要：血圧の自動制御を試みるため にラットを用いて血圧を回復させる自動制御シ ステムを試作した。 (当該論文の頁数：1頁) (当該論文の著者名：徳毛悠真、小林寛、南 山求、阪田光彦) 担当部分の概要：自動制御システム装置の設 計・試作の補助